



ライフラインと経済の構築

令和6年12月6日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

生活要求における需要と経済の関連は、そのインフレや、物価基準の変動とともに、経済への考察を求める。

これらは金融とともに経済の枠組みを新たに提案できるものである。これら生活需要は、固定的な消費を永続するものであり、それが経済の根幹を支えるものなのである。

グローバルゼーションはこれら現実の統一である。これらは変化の根本性への考察を提案するものである。

他方における経済の現実には巨大資本における経済への流入である。これらが格差という現実の根本性である。

これらが生活と人間性における社会の維持を与えるものである経済の真実であり、倫理的判断が存在し、マネーゲームと一線を画すものである。

これらは自由経済システムという現実が経済の独立性を与え、その自由な行動がこれらライフラインの維持を与えるものである。

これらは、経済における安全保障という現実への正しい考察なのである。これらは社会と生活の維持という観点から経済の枠組みの再考することは可能なのである。

これらは経済の枠組みや、ヒエラルキーへの新しい考察が、根本性において存在することを意味するものである。

これらは経済の実像が、消費者のライフラインの維持において支えられているためである。

新しい知的集積産業においても、生活と分離してそれらが語られることはできないのである。

これらは経世済民という言葉は決して誤りでないことを意味するのである。